

施策：	28	市街地の形成	財務コード	--
基本事業：	01	市街地の整備	担当部	建設部
基本事業の成果指標	土地区画整理事業等による整備面積（累計） 市街化区域における開発行為等による整備面積（計画期間内累計） 市街化区域における新規住宅着工件数（計画期間内累計）		担当課	都市計画課
			担当係	計画担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	平成02年度 ~		新規・継続	継続	会計区分		実施計画		
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）			2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）						
生垣を設置する市民			市民が新たに生垣を設置する際に「筑紫野市生垣推進等に関する条例」「同条例施行規則」に基づき、設置費用の一部を補助するもの。						
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）			【補助の対象】 ・市街化区域 ・市街化調整区域に定められた地区計画の区域 ・都市計画区域外の区域で締結された建築協定の区域 【補助金交付等の市民周知】 ・市広報掲載（4月1日号） ・市ホームページ掲載（常時掲載） ・建築確認申請、地区計画届出者等に対する案内チラシの配布 【申請手続き】 補助金交付申請 受付 現地調査 補助金交付決定通知 補助金交付請求 完了検査 補助金交付						
4. 成果（簡易評価は未記入）									
成果指標名称		単位	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度	07年度	目標
補助金を活用して整備された生垣の総延長（当該年度分）		m	実績 0	実績 13	当初	要求	計画	計画	50
5. コスト									
事業費		計	千円	0	40				
		国	千円	0	18				
		県	千円	0					
		地方債	千円	0					
		その他	千円	0					
一般		千円	0	22					
正職員人工数		人工	0.2	0.3	0				
正職員人件費		千円	1,606	2,376	0				
トータルコスト(事業費+正職員人件費)		千円	1,606	2,416	0				
6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）									
あがっている どちらかといえばあがっている あがっていない（停滞・低下）		【状況】実績：平成28年度 2件（20.4m）、平成29年度 0件（0m）、平成30年度 0件（0m）、令和元年度 0件（0m）、令和2年度 0件（0m）、令和3年度 1件（13m） 【分析】生垣設置後の維持管理を敬遠したり、道路沿いでフェンス設置や敷地内駐車場の確保が増加していることが原因と考えられる。 【その他】平成7年度以降、市街化区域等に3,335mの生垣が整備されており、市街化区域内等における緑豊かな居住環境及び景観の保全に寄与している。							
7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）									
対象動向	減少	類似事業	なし	緑豊かな居住環境・景観の保全を推進するため、市広報、市ホームページ、都市計画窓口で本事業の周知を行っている。 常任委員会において外部評価委員会の答申結果の報告を行ったが、防災の視点から事業の廃止については慎重に判断する旨の意見が出た。					
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし						
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし						
上位貢献度	影響度は小	業務推進課題	あり						
成果向上余地	中程度								
8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）			改善方向性		維持	見直し	廃止	事業終了	
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）			外部評価委員会において、本事業における改善事項の実施を行い、申請件数の向上を図る。 また、平成31年4月から危険ブロック塀等撤去費補助事業を開始したことから、ブロック塀撤去後に生垣設置推進を図るべく、本事業の周知を行う。						
事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）			備考・特記事項 or 進行管理欄						
市街化区域内等の潤いある緑豊かなまちづくりを推進するため、平成2年3月に「筑紫野市生垣推進等に関する条例」及び「同条例施行規則」を制定し、市民の緑化推進への意識高揚を図っている。			令和3年度で当事業は終了した。						